



5/30-6/4 東京でイベント&化石CT撮影

かごしま遊楽館（東京都）にて、甌島や化石に関するパネル展示と化石ストラップづくりを実施しました（写真1）。その後、国立科学博物館で、甌島産の化石のCT撮影を行いました。CT画像では、石に埋まっている化石を様々な方向から観察できるので、化石をより詳しく調べることができます。



写真1 獣脚類の歯（甌島産）とアンモナイトのストラップづくりに夢中の参加者。

6/11 「ゆびでたどる進化のえほん」発売

当館の石川学芸員が監修として参加した「ゆびでたどる進化のえほん」が発売されました（写真2）。三上智之さん（国立科学博物館）などさまざまな研究者が細部までこだわって作った絵本ですので、ぜひ手に取ってみてください（図書コーナーにも置いています）。



写真2 「ゆびでたどる進化のえほん」をもつ石川学芸員。主に爬虫類・鳥類のページを監修。

6/21 恐竜の模型を作りました

6月の化石プログラムでは、粘土で恐竜の模型を作りました。2足歩行の恐竜は後ろ足を中心に前後で釣り合いがとれるような体の構造をしているので、バランスを取りながら粘土を骨組みに付けていくと、本物らしい模型が作れます。子供達はバランスをとるのに苦戦していましたが、2足歩行の難しさを実感できたのではないのでしょうか（写真3）。次回7/19は、夏休みの自由研究でも使える「スケールづくり」を行います。参加申込はお電話で、7/11（金）までをお願いします。



写真3 上半身と尻尾のバランスを取りながら、骨組みに粘土を付けていく。

館長に大村慎吾さんが就任しました

4月の定期異動で、甌ミュージアムの館長に就任しました大村慎吾です。出身は、里町で、7年ぶりに甌島に帰って来ました。恐竜に関することに知識がなく、今回の異動を機に恐竜・地層・化石等について興味を持ち、地域の活性化に努めて参りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします（写真4）。



写真4 7年ぶりに甌島に帰ってきた大村館長。